

デニム壁紙 施工上のお願い

●はじめに

- ・3巾施工した時点で仕上がりをご確認下さい。
- ・万が一商品に不具合が見つかった場合、直ちに施工を中止して下さい。
- ・施工は5℃以上で行ってください。
- ※製造ロットにより色・風合いが実際の商品とサンプルとは、多少異なる場合があります。商品の欠点ではなく、意匠の一部としてお考え下さい。

●施工手順

1.養生

- 床・枠回りにパテ・接着剤などが付着しないようにマスキングテープなどで養生して下さい。

2.下地の調整(パテ処理)

- 壁紙で下地の不陸を隠蔽することは不可能です。目地、段差、凹部を事前にパテ処理し、サンダーがけなどで下地処理を平滑に仕上げ下さい。
- 施工後下地の色が透けて見えることがありますので、パテは下地と同色のものをご利用下さい。必要に応じて**カラーシーラー**をご使用になり、下地の色を統一して下さい。
- ベニヤなどの下地の場合、時間経過とともに変色やシミが発生する恐れがあります。ベニヤに限らず、下地にあった**シーラー**で処理を行って下さい。
- 下地は十分に乾燥させてから施工して下さい。剥がれや変色、カビの発生などの原因となります。

3.施工糊などの準備

- 糊は糊メーカーの規定の希釈率を必ず守って下さい。**原液タイプの糊**の使用をおすすめします。
- オープンタイムは5分から15分を目安とし、なるべく付け溜めは避けて下さい。
- 糊付け後、壁紙を大きくたたみ、上積みを受けて下さい。たたみじわが付くことがあります。

4.施工

- ほつれが生じる場合がありますので、天地方向を合わせ、**有効巾の端同士**で重ね切りをして下さい。重ね切りを行う場合には、**下敷きテープ**を使用して下地を傷つけないようにご注意ください。
- ジョイントのローラーを掛ける際には下記にご注意下さい。
 - ・当て紙をして、ハミ出た糊が付かないように注意して下さい。
 - ・**ローラー**はあまり強く掛け過ぎないようにして下さい。
 - ・ジョイントは一度壁紙を引いて入れ込むようにして押さえると良いです。
- 撫で付けは刷毛を上下に動かし、左右には動かさないようにして下さい。
 - ・左右に動かすと、壁紙の伸びを誘発してしまいます。
- ほつれの原因となりますので、カッター使用の場合カッターの刃は頻繁に変えて下さい。また、鋭い薄刃のカッターを使用して下さい。カッターの刃は15~20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず綺麗に仕上がります。
- 有効巾を超えた巾での使用は色違いの原因となります。かならず有効巾内で施工下さい。

5.養生

- 施工後は接着が安定するまで自然乾燥して下さい。外気や冷暖房などでの急激な室内の温度変化は避けて下さい。目開きやはがれなどの原因になります。

●注意事項

- 壁紙の表面に糊が付着しないようご注意ください。汚れなどが付着しても、取り除けない場合があります。また、強くこすることにより表面の色が落ちる場合があります。
- リフォームの場合は、リフォームに適した下地処理を行って施工して下さい。

2019.11更新

●推奨商品

シーラー

カラーシーラームヘン(白)【ヤヨイ化学】
シーラー100+プラス【ヤヨイ化学】

壁紙用接着剤(原液タイプの糊)

ミックス糊【サンゲツ】
アップワーカー【サンゲツ】
ダイレクトPRO【ヤヨイ化学】
ウォールボンド100【ウォールボンド】

下敷きテープ

A K下敷きテープ【サンゲツ】
ストライプ下敷テープ【ヤヨイ化学】
SPセーフティ【極東産機】

ローラー

本職ローラー(ソフト特殊ウレタン)【極東産機】
ブラックウレタンローラー【ヤヨイ化学】
クロスローラーウレタン【ヤヨイ化学】

お問い合わせ等は最寄りの営業所へご連絡下さい。